

令和8年度

第2回 学校運営委員会



9月7日（月）に大麻中学校で第2回大麻西小学校運営委員会、及び、第1回中学校区合同学校運営委員会が開催されました。授業参観後に行われた全体会①では、大麻中学校の落ち着いた雰囲気やICTを活用した先進的な授業への感想が各委員から寄せられました。続く各校の学校運営委員会での協議では、それぞれの学校が抱える課題について議論を交わし、大麻西小学校では特に東棟の女子トイレ洋式化問題について熱心な熟議が行われました。全体会②では各校の協議結果が共有され、大麻中学校の学力向上への取り組み、大麻小学校の地域大学連携、文京台小学校のサポーター感謝状などが報告されました。さらに小中一貫教育の推進や防災をテーマにした合同勉強会の企画提案など、今後に向けた地域と学校が一体となった活発な意見交換が行われ、非常に有意義な合同委員会となりました。



【委員の皆さんとの「トイレ環境改善に向けた熟議」の一部を紹介】

◆現状と課題

低学年・中学年が使用する東棟では、女子トイレの洋式が少ない状態である。和式トイレに慣れていない1年生の児童が、授業中など西棟の洋式トイレを日常的に利用している。

◆簡易洋式便座の検討断念

今回、PTAと簡易的な洋式便座の設置案を検討した。しかし、ポータブル式はグラつきや衛生面で他校でも苦勞した前例があることから、このアプローチは見送ることとした。

◆段階的かつ具体的なアプローチ

- ・今後、東棟トイレの全箇所の洋式化は難しいため、優先してほしい箇所を具体的に要望していく必要がある。
- ・学校運営委員の声として、トイレ改善をアンケート等で明記してはどうだろうか。
- ・地域で高齢化が進んでいる実態を踏まえ、災害発生時に避難所となる学校において、足腰の弱い高齢者が避難生活を送るためにも東棟の洋式トイレの確保の必要性があるのではないか。
- ・学校と行政・教育委員会との良好な関係性を大切にしながら、地域のつながりを通じた働きかけなども考えてはどうだろうか。